

令和2年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	新規・継続	事業名	予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業概要	実績	今後の方向性
1 芸術・文化のまちづくり事業								
1	継続	麻生音楽祭開催事業	3,200,000	546,067	地域振興課	「芸術・文化のまち麻生」の一翼を担う事業として、麻生区を中心に音楽活動をしている音楽団体、小学校・中学校・高等学校などの音楽グループが、それぞれの自主性を尊重しつつ、相互の交流を図りながら互いに学び合うという精神を生かすとともに、日頃の活動の成果を披露するコンサートを開催することにより、広く区民のきずなを深め、区政の推進と芸術文化の向上を図ります。	開催に向けて準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりコンサートは全て中止となりました。	市民が参加して企画・運営を行う麻生音楽祭は、芸術・文化のまちづくりを推進するために柱となっている事業です。今年度は残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大によりコンサートは中止となってしまいましたが、このような時だからこそ実施体制を見直すことができました。次年度もコロナの影響がある中ででの開催となりますが、引き続き、改善や工夫を図り、芸術・文化のまちのシンボル事業として継続していきます。
2	継続	あさお観光資源の魅力紹介事業	798,000	798,000	地域振興課	観光ガイドブックの配布、観光写真コンクール及び禅寺丸柿のPRなどにより、区の魅力を発信し、区のイメージアップや地域の活性化を促進します。	観光写真コンクールに236点の応募があり、応募作品をホームページで公開して魅力発信を行った。禅寺丸柿柿もぎ・芋掘り体験(定員30名、申込106名)、禅寺丸柿に関するパネル展示、かきまるくんグッズ(除菌ウェットティッシュ100点)の製作・配布、観光ガイドブックの配布を行い、麻生区の観光資源の魅力発信し、地域のイメージアップを図りました。	引き続き、禅寺丸柿をはじめとした貴重な地域資源を活用するとともに、新百合ヶ丘・黒川エリアをはじめとした豊富な観光資源をPRし、区のイメージアップや地域の活性化に資するため、継続して取り組んでいきます。
3	継続	KAWASAKIしんゆり映画祭野外上映会開催事業	1,006,000	0	地域振興課	自然豊かで芸術・文化の香り漂い、新たな故郷が感じられるまちづくりが望まれているなか、麻生区に定着している芸術・文化資源「KAWASAKIしんゆり映画祭野外上映会」を有効に活用して、「ふるさとあさお」、「芸術・文化のまち麻生」を提供します。さらには、夏の終わりに家族と過ごす思い出作りのお場を提供します。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催を断念しました。令和3年度の開催に向けて、開催方法を検討しました。	芸術・文化を通じた地域住民の交流や地域資源を活かした芸術・文化のまちづくりを区内全域に広げていく観点から、引き続き事業を実施する必要があります。その上で、地域団体等との連携や関連イベントの内容、広報の方法等について検討します。
4	継続	ふるさとあさお再発見事業	322,000	462,000	地域振興課	麻生区の豊かな自然の中で育まれた米・野菜・七草を用いて、「古風」のゆえんである焼いたお餅を加えたお粥を振る舞い、地域に伝わる伝統・伝承文化などを区民に広く紹介します。	新型コロナウイルス感染症の影響により、七草粥のお粥の提供はしないこととしました。その代替企画として、「あさお古風七草粥の会」パネル展」及び「新春あさお『笑はがき』展」の実施と、魅力を発信する動画の制作・配信を通じて、コロナ禍において、無病息災を願う七草粥の伝統や「ふるさとあさお」の魅力の広報(動画配信)を行いました。	地域に伝わる伝統・伝承文化を風化させず、後世に継承していくという観点から、より効果的に周知する方法などを模索しながら継続的に事業を展開することが必要です。
5	継続	イメージアップ推進事業	1,620,000	1,556,600	企画課			
	継続	懸垂幕作成業務			地域振興課	麻生区のイメージアップを図るため、スポーツ・文化活動などの全国大会出場等を応援する懸垂幕を区役所壁面に掲出するとともに、新百合ヶ丘駅南口バスターミナルに芸術・文化関連イベントの柱巻き広報物を設置することで広く地域住民にPRします。	・「アルテリッカしんゆり(夏公演)」(R2-7-9)、「あさお芸術のまちコンサート 秋空のハーモニー」(R2-7-8)の柱巻き広告物の掲示、「アルテリッカしんゆり」懸垂幕の掲出(R3.3) ・桐光学園高等学校バスケットボール大会優勝懸垂幕の作製・掲出(R2.12) ・区の魅力を発信するためのバックパネルの作製(R3.3)	柱巻き広報物の広報効果は高く、次年度も継続して事業を実施しますが、新百合ヶ丘駅周辺のエリアマネジメントの動向も踏まえながら、並行してより効果的な広報手段の検討が必要であると考えられます。
	継続	新百合ヶ丘駅周辺のイベント支援事業			企画課	公民協働の取組のうち、「kirara@アートしんゆり」を区の共催事業と位置付け、イベント開催に係る参加と支援を行います。	kirara@アートしんゆりの支援を実施	麻生区の主要な取組である「芸術・文化のまちづくりの推進」に向けて公民協働によるイベントを実施して地域を活性化し、区の魅力をPRすることが求められているため、本事業を継続して実施していきます。
6	継続	地域資源を活用したまちづくり推進事業	400,000	0	企画課	地域の特色や教育機関、企業等が持つ資源を活用し、各種団体と協働して魅力ある地域づくりに取り組むことを目的として、法人・団体等から地域資源を活用した事業の提案を受けて委託することで、区のイメージアップを図ります。	麻生区・6大学公学協働ネットワークを通じて、明治大学「黒川農場収穫祭」で、昭和音楽大学卒業生等によるミニコンサートを開催し、芸術まちづくりの奇号と農のイメージアップを図るイベントを見込んでいたが、新型コロナウイルス感染症の影響により収穫祭が中止となったため、当該事業の提案がありませんでした。	麻生区にある地域資源等を有効活用し、引き続き、魅力ある地域づくりに取り組むことが必要ですが、提案数が少ないため事業のあり方について見直しを行いつつ継続実施していきたいと考えます。
7	継続	あさお芸術のまちコンサート事業	2,775,000	2,741,034	地域振興課	平成12年度より始まった「あさおランチタイムコンサート」が会場を区役所ロビーから区内ホールへ移し名称を改めて実施しています。区民が気軽に音楽を楽しむことができる機会を設けることで、区のイメージアップを図るとともに、音楽家・音楽愛好家のネットワークづくりを促進します。	・9月13日 秋空のハーモニー(麻生市民館ホール) ・11月15日 ユニヴァーサルコンサート(新百合21ホール) ・12月13日 区内ホールコンサート(田園調布学園大学) ・2月1日 ユニヴァーサルコンサート(昭和音楽大学ユリホール)※無観客配信 ・あさおパラアート作品展&ミニコンサート(ユニヴァーサルコンサートと同時に開催)の開催 ・「カフェ・グランデ あさお」におけるワークショップの開催	音楽を通じた様々な交流の活性化や、他の芸術・文化団体との協力・連携により地域のつながりを強めるため、本事業は継続して実施する必要があります。さらに、芸術・文化のまちづくりを区内全域に広げ、誰もが文化芸術活動に親しむ環境づくりを進めるため、新たな連携による取組の実施など必要な検討を行います。
8	継続	しんゆり・芸術のまち推進事業	5,799,000	5,336,633	地域振興課	新百合ヶ丘駅周辺に集積する芸術関係のさまざまな施設や人材などの地域資源を活かし、事業者、教育機関、市民、行政等の連携により活力ある地域経済の創造、豊かな地域社会の実現と芸術を通じた幅広い効果追求する「しんゆり・芸術のまちづくり」の取組を区全体に広げ、「芸術・文化のまち麻生」の確立を目指します。	・「あさお芸術・文化交流カフェ」(7月28日、3月16日)、全体交流会「カフェ・グランデ あさお」(11月28日)の開催 ・新百合ヶ丘駅南口バスターミナルでの柱巻き広報物の掲示(しんゆり映画祭・R2.10-11、アルテリッカ・R2.10-12) ・アルテリッカしんゆりやkirara@アートしんゆり、しんゆりフュージョン・マルシェに関する支援 ・区内13か所の芸術文化施設への「リアフリールート」と、施設のバリアフリー状況をまとめた「芸術・文化施設バリアフリーマップ」の作成 ・「しんゆり・芸術のまちづくり」ホームページの改良	区内の芸術・文化資源を生かした地域活性化や地域ブランド化、誰もが芸術・文化を楽しむ環境づくりに向け、集約した情報発信や芸術・文化団体の交流・連携を引き続き推進するため、さらなる関係団体等との連携強化により本事業を継続し、取組を充実していく必要があります。
2 農と環境を活かしたまちづくり事業								
9	継続	あさお花いっぱい推進事業	942,000	939,082	地域振興課	区民との協働による地域の環境美化及び地域コミュニティの推進を目的とし、公共的空間にある花壇等を自主的かつ継続的に管理している団体に花苗等を提供して支援します。	ホームページ、タウン紙等での広報他、川崎市美化運動実施麻生支部と連携して町内会・自治会、子ども会といった各団体に広く協力を呼びかけ、支援を必要とする美化活動団体を募った。申請のあった32団体(内新規9団体)に花苗等を支援し、地域の環境美化向上及び地域コミュニティの推進につなげた。	地域に根差したコミュニティ活動の発展、地域の環境美化に対する意識の向上を達成するため、当事業による美化活動団体への支援は重要であり、今後も継続的に取り組んでいく必要があります。
10	継続	麻生里地・里山保全推進事業	880,000	744,819	生涯学習支援課	麻生区は、多摩丘陵の豊かな自然を残しながら、「しんゆり・芸術のまちづくり」などを中心にまちづくりが進められています。しかし、その一方で、心を和ませてくれる里山やのどかな田園風景が、年々失われつつあります。このまちの先人達が築いてくれた里山の自然や、その自然とともにある貴重な文化や歴史を継承し、様々な団体や個人との協働や連携を図り、新しい里地・里山の魅力を引き出し、次世代へつなぐための事業を展開します。	三密を避けるため定員を減らしたり、実施方法を変更したりする等、コロナ禍における対策を行い、6月～12月に里地・里山カフェ座やあさお里山こどもクラブ、10月～3月に里地・里山ナチュラリスト養成講座、里山フォーラムを継続実施しました。また、万福寺入参品評会には、区内小学校の児童や大学生の出品もあり、風景写真展の開催、里地・里山だよりの発行等により、自然とともにある貴重な文化や歴史の承継につながりました。	委託団体の高齢化に伴い、若い人材の確保をしなければ事業縮小、実施継続が不可能となることから予想されます。そのため、事業内容の精査をしたり、次世代の担い手を獲得できるような事業を実施していく必要があります。
11	継続	ヤマユリ植栽普及促進事業	250,000	250,000	地域振興課	区内で自然環境再生への問題意識が高まっている中、地域の環境美化及び地域コミュニティを推進するために、地域の公園緑地管理運営協議会等と連携しながら、消えつつあるヤマユリの植栽活動を支援するとともに、植栽ノウハウの蓄積・普及を促進します。	・地域の公園愛護会と連携したヤマユリ植栽地の観察・管理活動(6植栽地)と植栽支援(4か所) ・ヤマユリ開花展示会の開催(6月29日～7月8日) ・ヤマユリ植栽替え講習会(11月19日) ・ヤマユリ育苗講習会(新型コロナウイルス感染拡大防止のため幼苗ポット配布会へ規模を縮小して実施)(3月23日)	区民の関心が引き続き高い区の花ヤマユリの植栽・普及活動は、団体との協働により今後も継続して事業を実施していきます。
12	継続	エコのまち麻生推進事業	690,000	213,489	企画課	区民一人一人が取り組める身近なエコ活動を啓発し、区民や市民活動団体等との協働による「エコのまち麻生」を推進します。	・ゴーヤのカーテンを実施しました。 ・自然エネルギーの活用促進や地球温暖化防止に向けて、自然エネルギー学校10/31、大人向け出前講座11/21、11/27などを開催しました。	自然エネルギーの活用や地球温暖化の防止に向けて、普及・啓発活動を行う必要性があり、今後も継続して事業を実施していきますが、一部事業については業務の見直しを行い、事務改善の可能性を検討して行きます。
13	継続	農と環境を活かした連携事業	3,431,000	2,744,500	企画課	区民会議第1期「地元農産物と地域交流」第2期「エコのまち麻生の推進」第3期「循環型のまち・生ごみリサイクル」、「グリーンアップ・里山ボランティア」の提言を踏まえ、区内大学や学校、農業振興地域の農業従事者、事業者等と連携しながら、区内にある農業資源(早野・黒川・同上)の農業振興地域、明治大学黒川農場)や緑地などの環境資源を活用した地域活性化や地域交流を促進します。	・地域活性化検討専門部会(年1回)、黒川地域連携協議会(年1回)を書面開催し、関係者相互の理解を促進しました。 ・地元野菜の収穫体験や料理教室等の食農イベントの開催は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。	令和3年度は2回目の計画改定を予定していることから、協議会や部会の効率的かつ効果的な推進体制の見直しやイベントを行うなど、事業運営を継続することが適切であると考えられます。
3 すこやか・支え合いまちづくり事業								
14	継続	あさお福祉まつり開催事業	2,344,000	0	地域ケア推進課	区内で地域福祉活動に携わる当事者・ボランティア・施設などの活動を広く区民に知らせ、福祉への理解を深めるとともに、地域福祉に携わる団体が交流する「あさお福祉まつり」を開催します。	新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、今年度の開催は中止となりました。	昨年度までは参加団体数や来場者数は少しずつ増加傾向にあり、重要な福祉事業として区内に定着しています。来年度に向けて、感染症対策という新たな課題も加わりましたが、地域包括ケアシステムを推進するために、今後も区民発意のもと、来場者への地域福祉に関する普及啓発の場として事業を開催していきます。
15	継続	公園を拠点にした健康づくり推進事業	100,000	78,270	地域支援課	緑の多い麻生区の特徴を生かして、区民がウォーキングや体操などの取り組みを通して生活習慣病の予防及び介護予防を図り、健康寿命を延伸することを目的として、公園を拠点とした健康ウォーク及び健康体操を継続実施します。	・区内6か所の公園ウォーキングおよび4か所の公園体操を開催できるよう、活動を支援しました。 ・ボランティア向けの健康づくり講演会を実施しました。 ・あさおウォーキングマップの配布を継続し、YouTubeでの体操配信、CD作成を行いました。コロナウイルス感染予防のため緊急事態宣言中や感染者が多いときは公園での活動を中止したため、実績は例年を下回りました。	介護予防や健康づくりのための運動として、公園での取り組みが定着している。ボランティアや参加者のモチベーションをあげ今後も意欲的に継続できるよう支援を行います。また、ボランティアがいなくとも体操が継続できるよう、身近な場所で体操が行える仕組みを作っていきます。
16	継続	高齢者見守りネットワーク事業	25,000	10,767	高齢・障害課	日常の事業活動を通じて高齢者と接することの多い、生協、信用金庫、JA・郵便局、宅配担当、薬局等の地域の事業所と、民生委員や地域包括支援センター、麻生警察署・麻生消防署・川崎市消費者行政センター・司法書士会等関係機関が参加する情報交換会・連絡会を開催し、顔の見える関係づくりを目指します。関係機関等の連携強化により生活に異変のある高齢者や何らかの支援を必要としている高齢者を早期に発見できる環境づくり、高齢者が安心して生活できる地域づくりを推進します。	令和3年2月5日に情報交換会を開催。協力事業所・関係機関等から25名参加。感染防止対策のためグループワークは行わず、参加事業所から事業紹介や高齢者の見守りについての取り組みを紹介し、ネットワークの充実を図りました。	高齢者と接することの多い地域の事業所・関係機関等と引き続き連携を図っていく必要があります。今後とも、情報交換会・連絡会を開催し、顔の見える関係づくり、高齢者が安心して生活できる地域づくりを推進し、見守りネットワークの充実を図っていきます。

令和2年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	新規・継続	事業名	予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業概要	実績	今後の方向性
17	継続	地域包括ケアシステム推進事業	1,535,000	850,441	地域ケア推進課	地域包括ケアシステムを区内に推進していくため、地域ごとに「つながり・連携・支え合い」の仕組みづくりを進めます。高齢者が集う場を活用し、子ども・子育て世代と高齢者が交流を回る多世代交流事業や、物品の貸出、団体とのマッチングなど地域活動に係る資源の支援を行う地域活動支援事業、様々な主体による地域の取組の紹介、地域住民への意識向上や情報の周知等を目的とした普及・啓発事業を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●多世代交流事業 新型コロナウイルス感染症の影響により、高齢者施設等への出入りが制限される中、地域の親子と高齢者などの交流につながる企画について、施設の職員等と打合せながら模索を続けてきましたが、令和2年度中の実施には至りませんでした。 ●地域包括ケアシステム普及・啓発事業 ・地域包括ケアシステム講習会～Zoom操作研修～(11月20日 23名参加) ・地域包括ケアシステム講習会～運動&栄養教室～(3月6日 緊急事態宣言中のため中止) ・地域包括ケアシステム講演会～スマホ講座～(3月11日 10名参加) ●大学との連携事業 ・昭和音楽大学「大人のためのはじめてのコーラス教室～基礎講座～」(11月 20名参加) ・日本映画大学「地域上映支援大学～まちに映画を届けよう」(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ●感染症予防等普及啓発事業は健康福祉局予算にて実施 	地域の実情に応じた取組を進めるため、必要な支援方法等の見直しを行い、住民に対しては地域包括ケアシステムの啓発を推進すると同時に、町会・自治会などの地域の団体等に先進事例などの紹介や、活動の促進を行っていく必要があります。

4 安全・安心まちづくり事業

18	継続	麻生区安全・安心まちづくり事業	1,971,000	1,784,108	危機管理担当	<ul style="list-style-type: none"> ●社会情勢に即応した課題を共通認識し、住民・地域団体・事業者・行政機関等の連携及び協働により、区民が安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。●死亡事故に直結することの多い自転車事故を回避するための判断力向上を目的に、事故の瞬間、現場を目で見て学ぶ「スクエアストリート交通安全教室を実施します。●増加傾向にある高齢者の事故防止のため、民間自動車教習所で高齢者が安全な交通安全技術を習得する「シルバードライビングスクール」を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・11月22日、スポーツ防犯教室を実施(栗木台小学校) ・3月12日、振り込め詐欺防止研修会を開催(区役所4階第1会議室) ・スクエアストリート教育を実施(12月3日はひ野中、2月27日朝光学園中・高、3月5日長沢中) ・10月14日、シルバードライビングスクールを実施(和泉自動車教習所) 	今後においても、事業の必要性があることに加え、コロナ禍の影響も踏まえた上で、仕様の見直しを検討していくなど、現状に即した方向性を模索し、改善しながら、事業継続を行ってまいります。
19	継続	麻生区ガイドマップ増刷改訂事業	905,000	640,750	地域振興課	区民から好評を得ている麻生区ガイドマップを、最新の情報に更新し、改訂版を発行します。配布方法は、転入者に配布することを中心に、区役所窓口にて必要な方に配布します。転入者に知ってもらいたい、放置自転車等放置禁止区域、路上喫煙禁止重点区域の掲載や、転入者が転入して不安のないよう、災害緊急時の井戸の所在地や避難所一覧などの防災情報や新型コロナウイルスに関する相談窓口情報等も盛り込むなど、地図情報だけでなく、麻生区の各種情報を盛り込んだものとします。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年3月、麻生区ガイドマップの改訂・発行(13,000部) ・麻生区ホームページ用の地図データ、新百合ヶ丘駅周辺図データの作成、公開 	多様な転入者の様々なニーズに応えられるよう、マルチデバイス化や多言語化の可能性を探りながら、今後も継続して事業を実施します。
20	継続	麻生落書き消し事業	100,000	19,053	地域振興課	新百合ヶ丘駅周辺並びに百合ヶ丘駅及び柿生駅周辺等を中心とした落書き消しを実施し、駅周辺の美化と犯罪防止をめざします。また、町内会や地域の要請による「出前落書き消し」を実施し、落書き消しのノウハウを伝え、区内の美化と安全で安心なまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> 4月4日：岡上跡線(隊員、岡上町内会員より試行実施) 6月26日：片平1丁目、下麻生、岡上周辺(隊員のみ) 12月16日：岡上跡線、鶴見川周辺(隊員のみ、新型コロナウイルスの影響により、一般参加者の募集はせず開催。) 	これまで継続して実施してきた落書き消しの活動により、事業開始当初より落書きが減少しており、今後も地域の美化・犯罪防止に向けて事業を継続する必要があります。今後も地域団体等と連携を深め、参加者を募りながら落書き消しの普及啓発活動を一層促進していきます。
21	継続	小学校区危険箇所案内マップ作製事業	806,000	770,000	危機管理担当	交通安全、犯罪に巻き込まれない事を目的に、平成23年度から小学校区ごとに交通・防犯上の危険箇所を把握し、マップを作製しています。事業を開始した平成23年度及び26年度に続き、29年度に改訂を行い、1年生から3年生までに配布しました。30年度及び令和元年度は4月に入学する新1年生用に必要部数を増刷修正し、配布しました。	令和2年度は内容改訂該年度であったため、区交通安全母の会や麻生警察と連携し、最新の防犯等情報を反映した小学校区ごとのマップを作製し、区内各小学校新1年生のほか2～3年生や小学校、近隣高齢者施設に配布しました。	次回改訂は令和5年度を予定しています。地域における犯罪が依然として見受けられることから、今後も関係団体と連携し、有効な情報を反映させたマップを作製し、周知啓発を行ってまいります。
22	継続	地域防災力の向上事業	6,329,000	5,299,787	危機管理担当	地域防災力の向上に向け、災害時の対応は、自助・共助の取組が重要であることから効果的な啓発を通じ、区民の防災意識の醸成を図ると共に、より実践的な内容を主眼とした区総合防災訓練の実施、避難所運営会議や自主防災組織等地域主体の訓練に対する支援や関係団体による災害対策連絡協議会の開催を通じ、地域が一体となって災害対応の充実を図ります。又、災害対策本部体制の強化に向け、研修・訓練を通じ職員の防災意識・スキルの向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・「麻生区版わが家の防災ハンドブック」を作成する等、自助の取組みを促す啓発を行いました。 ・風水害時の緊急避難場所運営マニュアルや初動対応アクションカードを整備する等、避難所の開設・運営体制の強化を図りました。 ・自主防組織へ、訓練支援や講座を通じ、適切な支援を行い、地域防災力の向上に努めました。 	限られた資源や人員を効果的に使えるよう、運営体制の見直しを図っていきます。また訓練や研修の実施などにおいても、コロナ禍による影響が今後も継続していくと考えられることを踏まえ、実情に即した中でより効果的かつ実践的な手法の検討・実施を進めています。

5 総合的な子ども・子育て支援事業

23	継続	子育て支援・企画事業	2,450,000	2,003,847	地域ケア推進課	地域の子ども関連機関や団体と連携し、情報交換、研修、相互協力を行うことにより、地域の実情に合った総合的な子ども・子育て支援事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●麻生区子ども関連ネットワーク会議 全体会・研修会、子育てサークル向け講座の開催 ・全体会を5月、10月、3月の年3回実施(1-3回目は書面開催)。 研修会は10月に「支援する子どもと親のかかわり方を振り返る」の研修会(20名参加)を実施。 2月に子育てサークル向けZoom講座を実施(6名参加)。 ●子ども関連情報の発信 ・子育て情報誌の作成・配布(「きゅっとハグあさお」5,600部・「麻生区ちびっこおでかけMAP」11,000部)等) ・ホームページ、子ども情報コーナー、かわさき子育てアプリの運用 ●子育てグループへの活動支援の実施 ・麻生区子育て人材バンク(派遣件数 48件 46人) ・子育てサークル向けZoom講座(2月実施 6名参加) ●区民向け講座、イベントの実施 ・新米パパ&ママ向け子育て連続講座(全3回)を2回(各回平均30名程度参加) ・交と子向けイベント「パパとあそぼう!」ババフルキッズ(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ・区民向け子育て講座(7月実施 7組19名参加) ・イオンと連携し、各保育園職員による「親と子の遊びタイム」「幼稚園保育園作品展」(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ・地域の次年度就学予定児童の交流を目的とした「GO GOキッズ」(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) 	今年度の実施結果を検証し、事業の構成や内容の見直しも含めた検討を行うとともに、地域の声を反映させながら、地域全体で子育て世帯を支える子ども・子育て支援を推進します。
24	継続	こども関連大学連携事業	2,123,000	987,293	地域ケア推進課	「麻生区・6大学 公学協働ネットワーク」に基づき、各大学の特色や資源などを活用した、総合的な子ども・子育て支援事業を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和音楽大学との連携事業(子どもと一緒のコンサート12/27 443名、交流コンサート11/29 59名) ・和光大学との連携事業(ファミリー体験学習in鶴見川9/26 20組40名) ・田園調布学園大学との連携事業 あそぼう けるける田園チャイルド(新型コロナウイルス感染症防止のため中止)、キッズアート田園「夢がふくらむWAKUWAKUランド～粘土であそぼう」(新型コロナウイルス感染症防止のため中止) ・日本映画大学との連携事業「こども映画大学」(新型コロナウイルス感染症防止のため中止) ・明治大学との連携事業「アグリ・エコファーム体験 in大黒川農場」(新型コロナウイルス感染症防止のため中止) ・玉川大学との連携事業(オンライン赤ちゃん講座(Zoom)による連続講座)3/3・3/5・3/10 各回平均27名程度) 	今年度の実施結果を検証し、各大学とも調整を図りながら、事業の構成や内容の見直しも含めた検討を行います。また、引き続き、感染症対策を行いながら、より効果的な子ども・子育て支援を推進します。
25	継続	外国籍等こども学習支援事業	652,000	519,765	学校・地域連携担当	外国につながる児童生徒の学習を地域で支援するため、区内の小・中学校において個別の学習支援や公共施設等を利用して集団学習支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の外国につながる児童・生徒に対して、授業中や放課後に個別指導を行いました。 ・コロナ下の学校臨時休業期間や二度の緊急事態宣言下において、活動を休止した期間があり、やや規模を縮小しての支援活動に留まりました。 ・例年実施していた長期休業期間を利用した学習会や、児童・生徒間の交流を目的とした親睦会はコロナ下のため、今年度は中止しました。 	学習支援活動を継続しつつも、外国につながる児童・生徒の入学者数は年々増加し、支援へのニーズが今後さらに増すなかで、新たな支援ボランティアの育成や、新しい生活様式を踏まえたより効果的な支援方法・内容の検討等が課題です。
26	継続	あさお子育てフェスタ開催事業	486,000	0	地域ケア推進課	子育ての不安や悩みを抱え孤立しないように、行政と地域の子育て支援団体等が協働して「子育てフェスタ」を開催します。必要な支援の情報を届け、地域団体とのつながりや子育て世代相互の交流の機会として、ストレスや悩みの解消につなげる。区内の様々な子育て支援施設等のアビールの場としても活用します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、事前予約制の導入や団体のレイアウト等を、関係職員と検討を重ねる中で、子育て関連団体の状況を把握することで連携を深めました。また、開催に向けて動いていましたが、最終的に新型コロナウイルス感染症が感染拡大傾向となったため、中止となりました。	日頃から子育て支援を行う団体や地域の方の意見を取り入れながら、ウィズコロナに対応した企画検討を行い、内容の充実、参加者の利便性を図る必要があります。

令和2年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	新規・継続	事業名	予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業概要	実績	今後の方向性
-----	-------	-----	--------	--------	-----	------	----	--------

6 コミュニティづくり事業

27	継続	麻生区市民活動支援施設利用促進事業	2,817,000	2,259,909	地域振興課	麻生区市民活動支援施設「麻生市民交流館やまゆり」を麻生区における多目的な市民活動支援拠点として位置づけ、同施設の市民活動支援の推進を図ることを目的として実施します。	・市民活動団体交流イベント(11月28日)、人材育成講座(アクティブシニア講座:1月9日～全5回)等の実施 ・「やまゆりニュース」及び「あさおふれんず」発行による市民活動の情報提供、発信 ・市民活動相談窓口の運営(週2回)※PR活動については、新型コロナウイルスの影響により実施見送り ・新しいコミュニティづくりに資する市民活動への助成(2団体) ・まちのひろばのロゴを決定するとともに、区内のまちのひろばに関する情報を紹介した冊子の発行(1,000部)、ホームページ上への掲載	市民主体の中間支援組織が運営する麻生区の市民活動支援の拠点として、「やまゆり」を通じ市民活動支援を継続していく必要があります。今後は、これからのコミュニティ施策における「あさお希望のシナリオプロジェクト」での取組の中で、やまゆりの特性を生かした中間支援の役割について検討するとともに、やまゆりのあり方についても引き続き検討していきます。
28	継続	町内会事業提案制度事業	813,000	444,593	地域振興課	地域住民相互のつながりや地域の課題解決力の強化を目指し、区内の町内会・自治会が行う地域課題解決等につながる事業を支援する。町内会・自治会から事業提案を受け、審査を経て、当該町内会・自治会に事業の実施を委託します。	「ふれあいの里岡上 橋脚プロジェクト」事業(岡上町内会)、「地域見守り活動と自主防災活動の一体化にむけた活動」事業(三井百合丘第二地区自治会)、「読売日本交響楽団 演奏会」事業(はるひ野町内会)が提案・実施され、地域の課題解決につながりました。「防災視察研修」事業(東百合丘町会)は提案されましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施直前で中止となりました。	提案事業が制度の枠組みから外れても団体が事業を自主財源で継続運営できるよう制度の見直しを行い、令和3年度から委託事業ではなく負担金事業に変更したため、団体の継続運営に向けた動機付け等の支援が必要であると考えられます。
29	継続	麻生区地域功労賞事業	41,000	23,460	地域振興課	地域活動への関心を高めることを目的として、地域活性化に貢献している個人または団体を麻生区長名で表彰します。	令和2年度は、麻生区地域功労賞選考委員会の選考により、個人2名、1団体が受賞しました。当初、あさお区民まつりにおいて表彰式を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で区民まつりが中止となったため、別日に表彰状贈呈式を行い、受賞者については町運だより、地元広報紙などで広報しました。	地域活性化に貢献した個人や団体を表彰し、住民の地域活動への関心と理解を深めることは、地域活動への参加を促進するために必要な事業であることから、より効果的な内容や仕様を模索しながら継続します。
30	継続	麻生区市民活動支援施設活用事業	8,636,000	8,586,247	地域振興課	当該施設は、新百合ヶ丘駅南口・旧あさひ銀行グランド跡地の土地利用転換に伴い、応分の負担として開発業者が「市民活動の拠点施設」を整備することが決まり、平成19年4月に市に寄贈され、供用を開始しました。当該施設を多目的な市民活動の拠点施設として、市民の主体的な運営参加を実現することにより、市民活動の一層の推進を図ります。	・市民活動の「場」の提供(会議室の平日昼間稼働率:68%) ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で休館期間や開館時間の短縮、利用定員の制限等あり。	麻生区の市民活動の拠点として、多くの市民活動団体に活動の場を提供するなど成果を上げてきており、引き続き支援を継続していくほか、老朽化が進んでいることから、今後の修繕計画について検討していく必要があります。また、これからのコミュニティ施策を踏まえ、今後のやまゆりのあり方についても引き続き検討していきます。
31	継続	麻生区多文化共生推進事業	355,000	23,231	生涯学習支援課	多文化共生を題材とし、麻生区在住の外国人市民との交流を通じて、多文化共生社会への理解を深める。次世代を担う子どもの参加できる事業や、多文化共生社会への関心が薄い市民に対して興味を持てるような様々な事業を企画しながら、麻生区内において多文化共生社会の実現をめざします。	実行委員会形式で検討。新型コロナウイルス感染症拡大の緊急事態宣言を受け、オンライン(Zoom)講座として企画。 ゲストスピーカーである麻生区在住の英語講師を招き、「なぜ、彼女は日本で英語の講師に?～言葉の文化で旅する世界～」というタイトルで開催しました。当日は、ゲストスピーカーの経歴をふまえ、韓国、アメリカ、日本の3テーマに区切り、各テーマの話の後、十分なQ&Aのコミュニケーションの時間を取り、交流を深めました。	引き続き、多様な背景や価値観を持った人々がバリアなく活躍できる地域社会の実現を目指して、外国人市民の積極的な参加の促進や、関心のある市民との対話を重ねながら、多文化共生社会への理解を深めるための取組を進めていきます。
32	継続	市民活動推進に向けた地域人材の発掘・育成事業	202,000	166,376	生涯学習支援課	地域人材育成及び発掘による、市民活動・地域活動の活性化を図り、多様な分野で活躍する人材や団体を結び付けることを目的として、「麻生区市民活動団体検索システム」の運用・管理や市民参加のためのコーディネート機能の確立に向けた解説書の活用など、総合的な視点に立った事業を推進します。	市民活動・生涯学習に関わる施設担当者を対象に、麻生区における地域人材コーディネート機能の解説書を活用した研修を実施しました。新型コロナウイルス感染予防のため、オンライン ツールの活用を内容に加えしました。検索サイトは今後の整理に向けて、団体情報を一覧できる表のアウトプット機能を追加しました。	引きつづき、関係者協議により、検索サイトの見直しと整理を図っていきます。事業で得た知見を生かしつつ、市民が市民活動に参加する前のステップである「学び」の面に着目し、生涯学習支援(社会教育振興事業)の視点から地域人材の発掘と育成の取組を進めていきます。
33	継続	区民祭開催経費	235,000	0	地域振興課	住みよいまちづくりを目指し麻生区民の連携を深めながら、毎年10月2日曜日にあさお区民まつりを開催します。41団体により実行委員会が構成され、各町会・自治会や協賛企業の協力もあり、区民手作りのまつりとして地域に定着しています。	オンライン開催等の代替企画も実行委員会にて検討されましたが、新型コロナウイルス感染症の状況が見通せない中で、中止することとなりました。	町内会・自治会をはじめとする多くの団体が開催へ向けて尽力し、麻生区の一大会であることから、今後もより良い内容を模索しながら円滑な開催を図っていく方向です。
34	継続	麻生区市民提案型協働事業	1,892,000	783,119	企画課	地域課題の発見と解決を図る新たな提案型事業を公募し、事業選定審査委員会の意見をもとに事業決定します。決定した事業は、市民活動団体等の提案団体と協働の理念にのっとり、事業を委託して実施します。	・各所管課と連携して適切な事業運営を行った(協定、契約、予算執行、その他連絡調整など)。 ・今年度事業の中間報告及び3月19日に今年度実施事業の報告会を行いました。 ・提案事業の実施スケジュールや審査基準について、関係所管課・機関や審査委員とも協議の上、検討を行いました。 ・令和3年度事業の公募・選定を実施しました。	提案事業が制度の枠組みから外れても団体が事業を自主財源で継続運営できるよう制度の見直しを行い、令和3年度から委託事業ではなく負担金事業に変更したため、団体の持続可能な運営への支援が必要であると考えられます。
35	新規	町内会・自治会加入促進事業	708,000	702,080	地域振興課	麻生区町会連合会と協働し、町内会・自治会未加入者に対する町内会・自治会加入促進パンフレットを製作することにより、積極的に町内会・自治会への加入を促し、地域コミュニティの活性化を図ります。	令和元年度作成の「町会・自治会ガイドブック」の内容を改訂した上で発行し、麻生区転入者が区役所での転入手続きの際に受け取るウェルカムセットの一つとして配布し、町内会・自治会への加入を呼びかけました。	町内会・自治会への支援の観点からも、町内会・自治会の加入率を維持していくことは重要であり、より効果的な内容を模索しながら継続して実施していきます。
36	継続	スポーツのまち麻生推進事業	2,271,000	841,082	地域振興課	「川崎フロンターレ麻生グラウンド」を始めとした、区内の様々なスポーツ資源を活用した連携事業の実施や、区内のスポーツ関係団体で構成される「スポーツのまち麻生推進会議」の運営、さらに区民が自主的に行うスポーツ大会の支援、スポーツ・健康ロード等の地域資源を活用したスポーツのまちづくり事業、ユニバーサルスポーツ活動の支援事業などを通して、魅力あるスポーツのまちづくりを推進します。	・あさおスポーツフェスティバルに申請したのは3大会のみ。【新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため大会中止】 ・スポーツ・健康ロード等活用事業では110名が参加。【新型コロナウイルス感染症拡大対応のため開催回数を減らし、参加人数が減少したため】 ・アシストクラブ主催応援ツアーは108人参加。【新型コロナウイルス感染症拡大対応のため会場座席数限定により】	かわさきバラムーブメント推進ビジョンの策定に伴うバラムーブメントの金銭的な取組の推進及び平成29年度の川崎市スポーツ推進計画の改定を受けて、また、東京オリムピック・パラリンピック開催にあたり、障害者と健常者が一緒に参加できるスポーツ教室やスポーツイベントの開催など、これまでの地域資源を活用した地域スポーツの推進の継続と、さらなる取組を推進する必要があります。

7 地域課題対応事業その他事業

37	継続	事務費等共通経費	1,106,000	983,399	企画課	地域課題対応事業の実施に必要な事務用品等の購入、郵便料、複写品意等を確保します。	地域課題対応事業の実施に必要な事務用品等を購入しました。また、郵便料、複写品費等を適正に執行しました。	需用費等について見直しを行いながら、引き続き計画的に執行していく必要があると考えられます。
----	----	----------	-----------	---------	-----	--	---	---

8 区役所サービス向上事業

38	継続	区役所窓口等サービス充実改善事業	2,448,000	2,423,998	区民課	区役所サービス向上指針に基づき、市民に便利で快適なサービスの、効率的・効果的かつ総合的な提供を行い、市民の視点に立った区役所サービスの充実を図ります。	・混雑時に窓口案内等を設置し、適切な案内・誘導を行いました。 ・職員の接客能力・クレーム対応能力の向上のため、接客研修等を実施しました。 ・庁舎案内リーフレットの作成等を行い、的確でわかりやすい案内を実施しました。 ・窓口や待合スペース等に、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、感染拡大防止に努めました。	市民の視点に立ったサービスの向上のため、社会環境の変化への柔軟な対応や、市民ニーズの把握を常にし、継続的な事業の見直しや課題の改善に取り組む必要があります。
39	継続	区政・地域情報提供事業	394,000	0	企画課	区役所職員の広報・広聴業務に関するスキルアップを図り、区民にとってわかりやすく親しみやすい広報・広聴活動を行います。	・随時、ホームページの更新作業を行いました。 ・麻生区役所職員を対象に、広報・広聴研修を実施しました。	「川崎市シティプロモーション戦略プラン」の方針を考慮しながら、区の広報広聴推進のあり方や広報研修の内容を検討し、引き続き、市民に対する効果的な情報提供などのあり方を、実務を通して検証していきます。

9 区の新たな課題即応事業

40	継続	区の新たな課題即応事業	5,000,000	4,925,894	企画課	年度途中に発生する新たな課題に、区長の権限で適切かつ迅速に対応するための事業を実施します。	・新型コロナウイルス感染症対策に係る感染症対策用品等の購入 ・麻生区役所庁舎及び梅生分庁舎における網戸取付工事 ・白山中学校跡地施設におけるグラウンド側溝清掃業務委託 ・市政情報コーナー等リノベーションに係る物品購入 ・麻生区役所庁舎におけるブラインド更新工事	引き続き、次年度も、年度途中で区の新たな課題が発生した場合は、所管課や関係局と調整し、迅速な対応を行い、事業を実施していきます。
----	----	-------------	-----------	-----------	-----	---	--	--

合 計			68,857,000	51,459,693	
-----	--	--	------------	------------	--